

平成 28 年 9 月 26 日

国 際 統 括 官

## G 7 長野県・軽井沢交通大臣会合の結果について

- ・国土交通省は、9 月 23 日から 25 日に、G 7 長野県・軽井沢交通大臣会合を開催しました。これは、G 7 伊勢志摩サミットにあわせて開催される関係閣僚会合の一番最後となるものです。
- ・G 7 交通大臣会合は、G 7 交通大臣及び E U の交通担当委員が一堂に会し、今後の交通、ひいては社会全体を左右する重要なテーマを取り上げ、大きな方向性を議論するものです。昨年ドイツ・フランクフルトにて第 1 回が開催され、今回の G 7 長野県・軽井沢交通大臣会合は第 2 回目となり、日本では初めての開催となります。
- ・会合では、「自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及」と「交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略」の二つのテーマについて議論を行い、それぞれ大臣宣言を発表しました。

1. 日 程 : 平成 28 年 9 月 23 日（金）～25 日（日）

2. 場 所 : 長野県北佐久郡軽井沢町 軽井沢プリンスホテル

3. 議 題 : (1) 自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及  
(2) 交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略

4. 参加者 : ・日本：石井啓一国土交通大臣（議長）  
・カナダ：マーク・ガルノー運輸大臣  
・フランス：フランソワ・プーパールインフラ・交通・海洋総局長  
・ドイツ：アレクサンダー・ドブリント連邦交通・デジタルインフラ大臣  
・イタリア：グラツィアーノ・デルリオインフラ運輸大臣  
・英国：クリス・ 그레이リング運輸大臣  
・米国：アンソニー・フォックス運輸長官  
・E U：ヴィオレタ・ブルツ欧州委員会運輸担当委員

日程および概要の詳細は別紙のとおり。

## &lt;問い合わせ先&gt;

総合政策局国際政策課 松本、関  
電話：03-5253-8111(内線 25753、25754)  
03-5253-8312（夜間直通）

FAX : 03-5253-1561

海外プロジェクト推進課 藤井、提箸  
電話：03-5253-8111(内線 25807、25816)  
03-5253-8315（夜間直通）

FAX : 03-5253-1562

## ○日程：

## 9月23日（金）

- ・バイ会談（日伊、日EU、日米）
- ・歓迎夕食会（国・地元共催）

## 9月24日（土）

- ・オープニングセッション
- ・フォトセッション／記念植樹
- ・自動運転に関する官民セッション
- ・大臣主催昼食会
- ・セッション1「交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略」
- ・セッション2「自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及」
- ・議長記者会見
- ・石井国土交通大臣主催晚餐会

## 9月25日（日）

- ・バイ会談（日加、日英、日独）

## ○結果概要：

- ・G7長野県・軽井沢交通大臣会合は、G7の交通大臣及びEUの交通担当委員が一堂に会し、今後の交通、ひいては社会全体を左右する重要なテーマを取り上げ、大きな方向性を議論するものです。なお、この会合は5月のG7伊勢志摩サミットにあわせて開催される関係閣僚会合の一番最後となるものです。
- ・G7交通大臣会合は、昨年ドイツ・フランクフルトにて第1回が開催され、今回のG7長野県・軽井沢交通大臣会合は第2回目となり、日本では初めての開催となります。
- ・G7長野県・軽井沢交通大臣会合では、「自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及」と「交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略」の二つのテーマについて議論を行いました。

（1）「自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及」

- ・自動運転等の自動車及び道路に関する最新技術については、交通分野での今後の最大の成長分野の一つであり、関係各国の協力が不可欠となっていることから、G7間において大きな方向性を示すべく、議論を行いました。
- ・特に、自動運転については、各国の民間企業や研究機関も招いた官民セッションを開催し、産学官で連携した取組の重要性を認識しました。  
※民間参加者：日：トヨタ自動車、加：ウォータールー大学自動車研究センター、仏：ルノー、独：BMW、伊：フィアットクライスラー、米：元スタンフォード大学教授、英：ホリバ・ミラ
- ・会合での議論を踏まえ、自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及に関するG7長野県・軽井沢交通大臣会合宣言を発表しました（別添：骨子、英文、仮訳）。
- ・なお、走行データの記録システム、国際的な規則、倫理的な問題、地方自治体で役

立つ新技術、世代による利用形態の違い等マクロトレンド変化への対応などについてご指摘がありました。こうした課題については、引き続きG7間で議論を継続していくこととなりました。

## (2)「交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略」

- ・ どのG7各国においても、厳しい財政制約の中で、交通インフラの老朽化が進み、安全・安心の確保のための対応が求められる一方、今後の各国の成長戦略を担う新たなインフラ整備が必要とされていることから、大局的な観点から、インフラ整備の基本的戦略に関する議論を行いました。
- ・ 会合での議論を踏まえ、交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略に関するG7長野県・軽井沢交通大臣会合宣言を発表しました（別添：骨子、英文、仮訳）。
- ・ なお、交通インフラ整備については、経済成長に結びつく実効性のあるインフラ投資のあり方等についてWGを作って議論を深めていくこととなりました。

## (3) その他

- ・ このほか、24日昼食の際に、国際航空分野における市場メカニズムに基づく排出削減枠組（GMBM）に関するG7交通大臣共同声明を発出しました（別添：英文、仮訳）

## (4) バイ会談

### ①日伊バイ会談

- ・ 9月23日、石井国土交通大臣は、イタリア・デルリオ大臣とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、本年が日伊国交150周年の節目となることを踏まえ、我が国企業による投資の進展など、両国関係の連携強化を確認しました。
- ・ また、今回はイタリアがG7議長国となることから、来年のG7交通大臣会合に向けて議論を深め、引き続き連携して行くことを確認しました。

### ②日EUバイ会談

- ・ 9月23日、石井国土交通大臣は、EU・ブルツ欧州委員会運輸担当委員とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、日EU航空安全協定（BASA）、日EU・EPA交渉、国際航空・国際海運での地球温暖化対策の取組等をはじめとして、日EU間の建設的な協力関係を一層緊密にしていくことを確認しました。

### ③日米バイ会談

- ・ 9月23日、石井国土交通大臣は、米国フォックス長官とのバイ会談を行いました（昨年11月に続き、二回目の会談）。
- ・ 会談では、昨年の会談時に発表した日米共同声明に基づき、これまでの国土交通分野における協力関係の深まりを確認し、これを一層進展させていくことで一致しました。
- ・ マグレブ、高速鉄道計画については、具体的なプロジェクトの進展に向けて、協力関係を強化していくことを確認いたしました。
- ・ このほか、航空分野について、MRJへの協力や、日米航空安全協定（BAS

A)の拡大、国際航空分野の地球温暖化対策等について意見交換を致しました。

#### ④日加バイ会談

- ・ 9月25日、石井国土交通大臣は、カナダ・ガルノー大臣とのバイ会談を行いました。
- ・ 会談では、日加間の航空安全に関する取決め（BASA）の整備分野への拡大を来年実現させる方針を確認するとともに、インフラ投資等について意見交換を行い、両国の協力関係を一層強化していくことを確認しました。

#### ⑤日英バイ会談

- ・ 9月25日、石井国土交通大臣は、英国・グレイリング大臣とのバイ会談を行いました。
- ・ 会談では、英国のEU離脱による日本企業への悪影響がないことに加え、鉄道分野における両国間の協力を一層促進していくほか、両国双方向の交流を推進していくことを確認しました。
- ・ また、会談終了後に、両大臣は我が国の高速鉄道技術等の展示を視察しました。

#### ⑥日独バイ会談

- ・ 9月25日、石井国土交通大臣は、ドイツ・ドブリント大臣とのバイ会談を行いました（本年7月に続き、二回目の会談）。
- ・ 会談では、昨年以降の今回のG7交通大臣会合での前進を確認し、G7長野県・軽井沢交通大臣会合での成果を踏まえて引き続き両国が連携し、国際的な議論を主導して行くことで一致しました。
- ・ また、燃料電池自動車や電気自動車等の次世代自動車について、両国間での協力を確認し、会談終了後に、両国の民間企業同士が協力して開発している次世代自動車等の展示を視察しました。

#### 【写真】



歓迎レセプション（乾杯）



フォトセッション



記念植樹



オープニングセッション



G 7 交通大臣会合  
(自動運転に関する官民セッション)



G 7 交通大臣会合 (セッション 1)



自動運転車等のデモンストレーション  
(米フォックス長官乗車)



イタリア・デルリオ大臣との会談



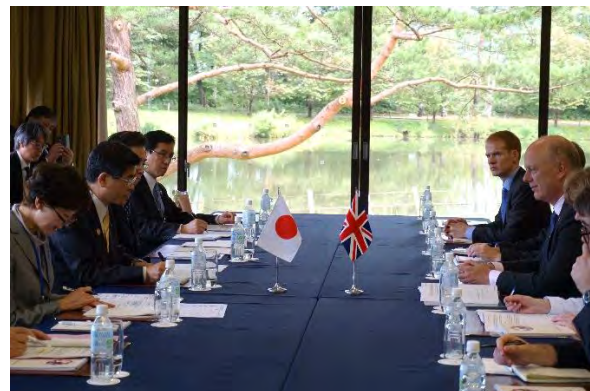
米国・フォックス長官との会談



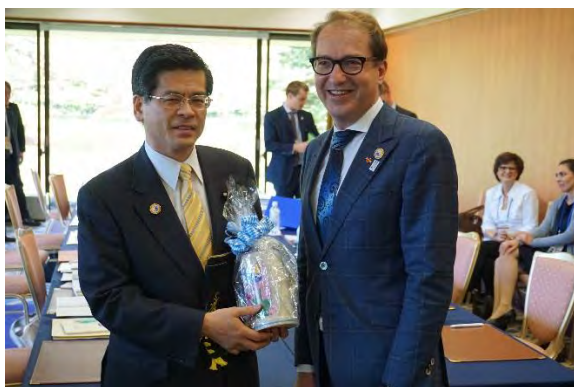
E U・ブルツ委員との会談



カナダ・ガルノー大臣との会談



英国・グレイリング大臣との会談



ドイツ・ドブリント大臣との会談